

Japanese Patent NO. SHO 63-52902

PUBLICATION DATE : July 7, 1981
 APPLICATION NUMBER : SHO 54-160069
 INVENTORS: Koichi Hashimoto, Takahumi Hamabe
 APPLICANT : Matsushita Electric Works, Ltd.
 TITLE OF THE DEVICE : FOOT MASSAGER
 ABSTRACT:

A foot massager includes a supporting base, arms 17 whose lower edge portions are pivotally supported by supporting shafts of the supporting base, a double-faced massager 21 fixed to upper edge portions of the arms, and turning regulation means provided at first and second predetermined positions in two directions in which the double-faced massager 21 is turned by own weight thereof around the supporting shafts,

wherein at the first predetermined position, one face of the massager 21 faces upward, is approximately horizontal, and has a height approximately equal to a height of a seating face of a chair 1 and at the second predetermined position, the other face of the massager 21 faces upward, slightly inclines toward the first predetermined position, and is located in a position lower than the first predetermined position.

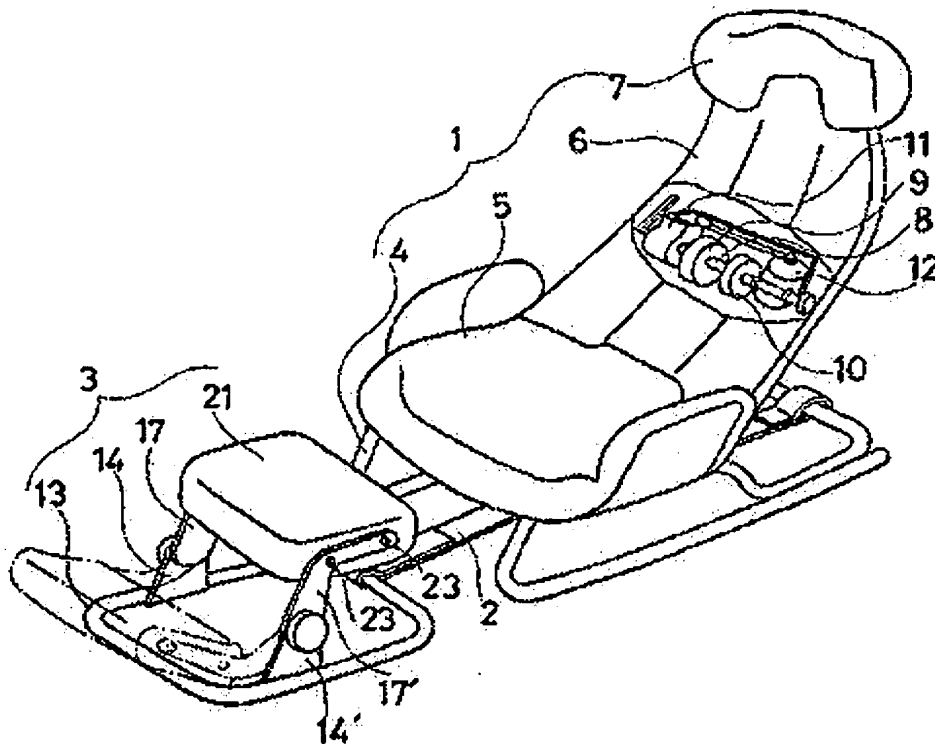


FIG. 1

⑫ 特 許 公 報 (B 2)

昭 63 - 52902

⑮ Int. Cl. ⁴
A 61 H 23/02識別記号 庁内整理番号
7720-4C

②④公告 昭和63年(1988)10月20日

発明の数 1 (全5頁)

⑭発明の名称 フットマツサージャ

審 判 昭58-17190

⑯特 願 昭54-160069

⑮公 開 昭56-83349

⑰出 願 昭54(1979)12月10日

⑱昭56(1981)7月7日

⑲発 明 者 橋 本 浩 一 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑲発 明 者 浜 辺 隆 文 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑳出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地

㉑代 理 人 弁理士 宮井 暎夫

審判の合議体 審判長 俵 湛 美 審判官 沼辺 征一郎 審判官 小野 新次郎

㉒参 考 文 献 特開 昭52-152685 (J P, A) 実開 昭54-140592 (J P, U)

実開 昭51-19586 (J P, U)

1

㉓特許請求の範囲

1 支持台と、この支持台の支軸に下端部が軸支されたアームと、このアームの上端部に固定された両面マツサージャ本体と、この両面マツサージャ本体が前記支軸を中心として自重により回転する2方向の第1および第2の所定位置に設けられた回転規制手段とを備え、前記第1の所定位置で前記マツサージャ本体の一面が上向きの略水平となりかつ椅子の座面の高さにほぼ等しい高さをとるとともに、前記第2の所定位置で前記マツサージャ本体の他面が上向きとなつて前記第1の所定位置側にやや傾き、かつ前記第1の所定位置での高さよりも低い位置をとるように設定したことを特徴とするフットマツサージャ。

2 前記アームは屈曲アームであり、前記マツサージャ本体は屈曲アームの一端部に固定され、その他端部が前記支持台に枢支され、支持台と屈曲アーム間に構成された円弧形ストツバ溝とストツバとで回転範囲が規制される特許請求の範囲第1項記載のフットマツサージャ。

発明の詳細な説明

この発明はフットマツサージャに関するものである。従来、椅子の前部に両面が使用できるフットマツサージャ器を回転自在に設けて、ふくらはぎと足裏とをマツサージするものがあつたが、構造が複雑でしかも楽な姿勢で足うらとふくらはぎを

2

マツサージすることができないという欠点があつた。

したがつて、この発明の目的は、簡単な構成によりふくらはぎと足うらとが同じ位置に座つたままでも楽な姿勢で効果的にマツサージできるフットマツサージャを提供することである。

この発明の一実施例を適用したマツサージ機を第1図ないし第6図に示す。すなわち、このマツサージ機は、椅子式マツサージ機本体1にベルト2の一端部を連結し、ベルト2の他端部を本体1の前方に出してフットマツサージャ3を連結している。

椅子式マツサージ機本体1は、脚部4と、肘掛け付座部5と、背もたれ部6とヘッドレスト7とで構成され、背もたれ部6は内部にシャフト8が上下移動できるように装置され、シャフト8に一对のもみ輪9、10を偏心付けし、かつ減速機11およびモータ12を枢架して、モータ12の駆動によりもみ輪9、10を偏心回転するとともにシャフト8を上下移動してもみ輪9、10により背中全体をマツサージする構成である。

フットマツサージャ3はパイプを四角形に曲成した支持台となる固定フレーム13に一对の支柱板14、14'を対向立設し、支柱板14、14'の上端部に第2図および第4図のように軸孔15と円弧状ストツバ溝16を穿孔し、アーム1

3

7, 17'の一端部に設けたヒンジピン18を軸孔15に回転自在に枢着すると同時にストツバ溝16にストツバ19を挿通し、キャップ20, 20'でピン18およびストツバ溝16を被覆する。そしてアーム17, 17'の他端部にフットマッサージャ本体21を防振ゴム22を介して止めねじ23により固定する。フットマッサージャ本体21は第3図のように底部24と蓋体25からなり、底部24の中央部にモータ取付板26を止めねじ27で固定し、取付板26にモータ28を装置しており、モータ28のモータ軸29に偏心分銅30, 30'をねじ止めし、モータ軸29の先端部に空冷用ファン31, 31'を取付け、一方、蓋体25の表面に凹部32を形成して電源スイッチ33および電源ランプ34を埋設し、連結ねじ35…により蓋体25を底部24に固定している。この場合、底部24および蓋体25の一对向側部に切欠36…を形成し、一对の取付杆37, 37'の両端部に防振ゴム22を取付けて底部24の切欠36間に架設し、蓋体25を底部24に取付けることにより防振ゴム22を介して取付杆37, 37'を固定し、アーム17, 17'に取付ける止めねじ23を取付杆37, 37'に形成したねじ孔にねじ込むようにしている。これにより、電源スイッチ33をオンにしモータ28を作動すると、偏心分銅30, 30'の偏心運動により本体21の全体が取付杆37, 37'に支持されて振動し、底部24および蓋体25の各表面でマッサージに供することができる。そしてアーム17, 17'はストツバ19によりストツバ溝16に規制されて第4図の実線の状態と同図仮想線の状態に安定係止し、本体21をそれぞれの位置で安定支持する。

第5図および第6図はこのマッサージ機の使用状態である。すなわち、第5図は、マッサージを受ける者Aが椅子式マッサージ機本体1に背もたれ状態で座して、脚のふくらはぎaを本体21に乗せて、体のマッサージと、ふくらはぎaのマッサージを同時に行っている。この状態で背中を張ると本体1に背中を押付けることができる。第6図はフットマッサージャ3のアーム17, 17'を通して本体21を低い位置の傾斜状態に移動して足裏bを乗せた状態で、フットマッサージャ3と椅子式マッサージ機本体1とはベルト2で連結

4

されているので、足を突張ることにより、フットマッサージャ3がずれ動くことなしに、足裏と背中をそれぞれ押付けることができ、両方のマッサージ効果を高めることができる。

このように、このマッサージ機は、椅子式マッサージ機本体1にフットマッサージャ3を連結したため、人体の脚を突張ることにより背中のマッサージ効果を自己調整しながら高めることができるという効果があり、この場合、ストツバ溝16を設定してフットマッサージャ3の表面を足で踏張りやすい態勢に傾斜させると、より一層効果的になる。またフットマッサージャ3により足うらbのマッサージを同時に行うことができる。さらにフットマッサージャ3のアーム17, 17'を起こして本体21を反転し高位置安定状態にすると、椅子式マッサージ機本体1のフットマッサージャ本体21が接近し、かつ脚のふくらはぎaを自然に本体21に乗せるように設定することができる。簡単にふくらはぎのマッサージをすることができ、同時に背中をそらせて体のマッサージ効果を調整しながら高めることができる。マッサージ機能のない普通の椅子を用いる場合も同様に足裏およびふくらはぎのマッサージを行うことができる。しかもフットマッサージャ本体21の表裏で足裏マッサージとふくらはぎマッサージとを個別に使うようにすると、不潔感を除去できるとともに、足裏用にはイボイボ等の細かい凹凸および土踏まず用凸部を設け、またふくらはぎ用にはソフトな生地面等マッサージしやすくかつ効果的な手段を施すことができる。また、マッサージ機能を働かさなくても、椅子との組合せでオットマンとして使用することができる。

以上のように、この発明のフットマッサージャは、両面マッサージャ本体を支持台に回転自在に保持させて、自重に対する2方向の回転規制手段によりマッサージャ本体を所定高位置かつ前位置の水平姿勢と低位置かつ後位置の傾斜姿勢とをもたせるようにしたため、ふくらはぎと足裏とが尻部から異なつた距離にあるにもかかわらず、同じ位置に座つたままで楽な姿勢により効果的に両マッサージができ、しかも簡単な構成により実現できるという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を適用したマツサ

5

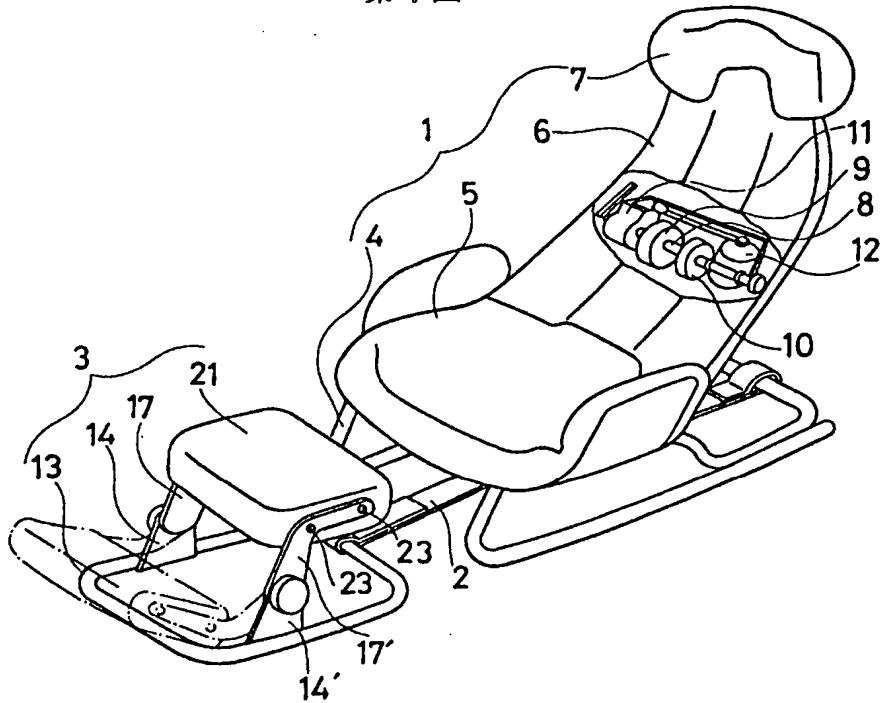
6

ージ機の斜視図、第2図はそのフットマッサージ
 ヤの分解斜視図、第3図はその本体の分解斜視
 図、第4図はフットマッサージヤの斜視図、第5
 図および第6図は使用状態の側面図である。

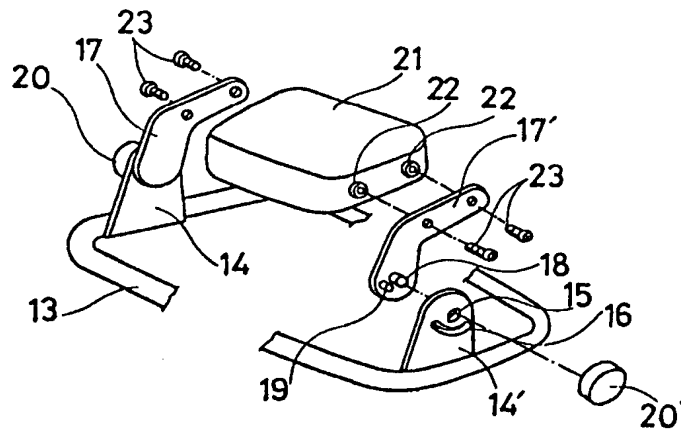
支柱板、16…円弧状ストツパ溝（回動規制手
 段）、17、17'…アーム、18…ヒンジピン
 （支軸）、19…ストツパ（回動規制手段）、21
 …フットマッサージヤ本体。

13…固定フレーム（支持台）、14、14'… 5

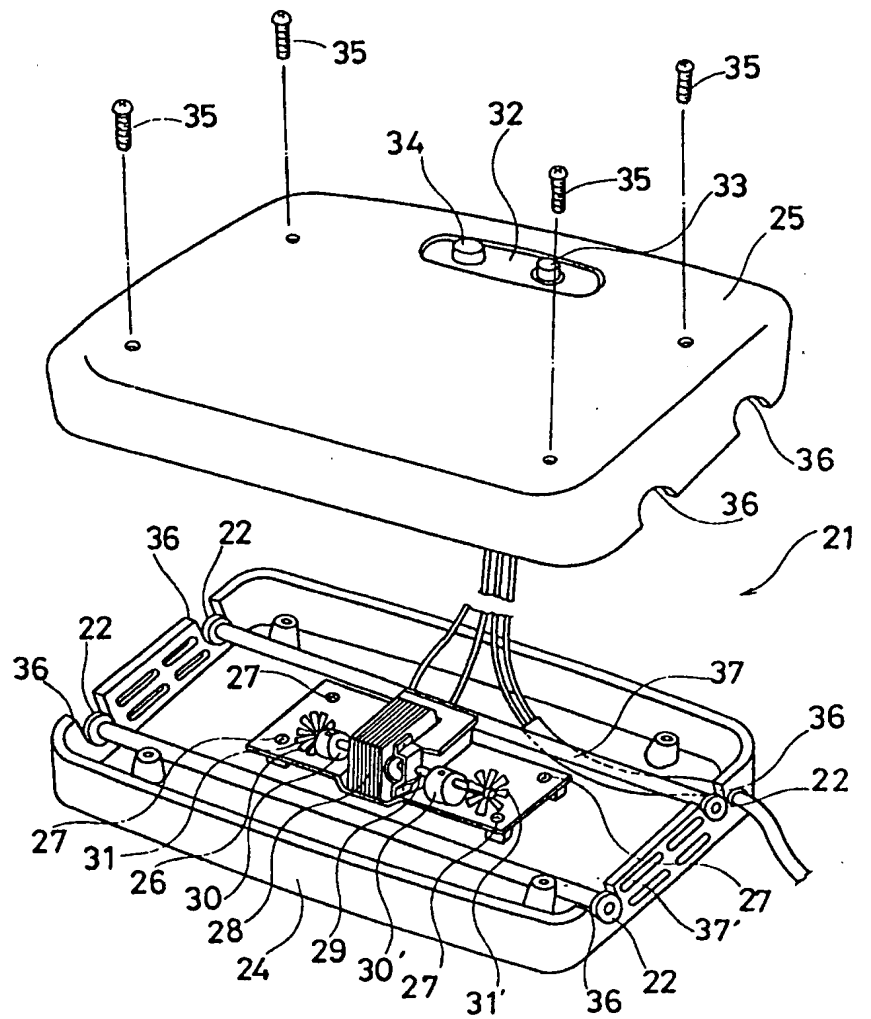
第1図



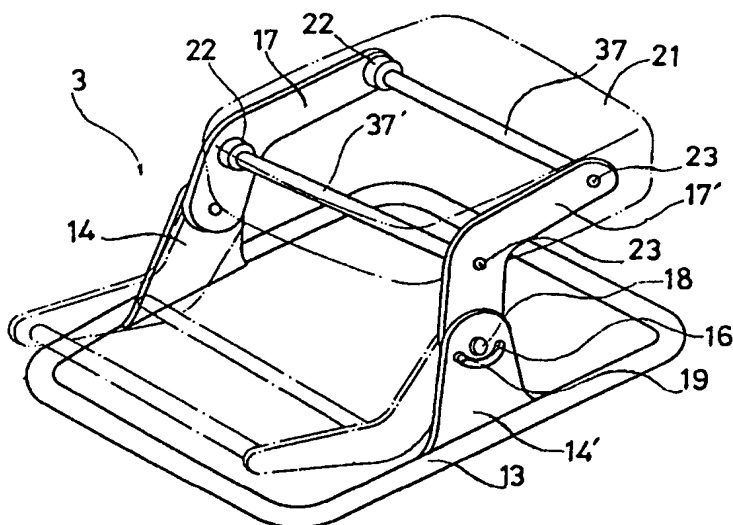
第2図



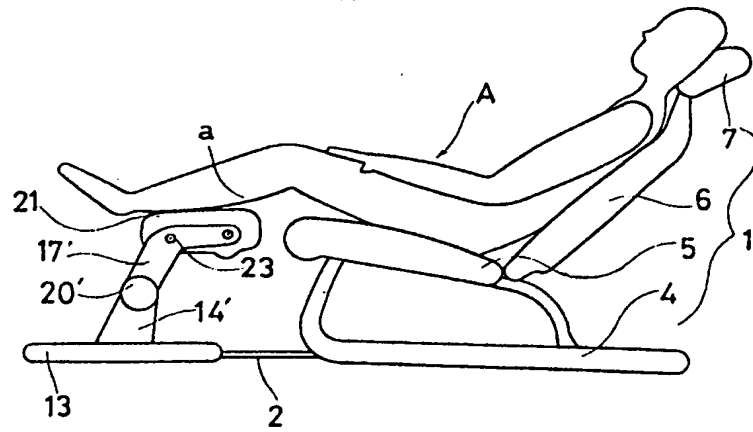
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

